

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月1日
【四半期会計期間】	第15期第2四半期(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)
【会社名】	モーニングスター株式会社
【英訳名】	Morningstar Japan K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役COO 朝倉智也
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 小川和久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	03(6229)0810
【事務連絡者氏名】	取締役CFO 小川和久
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第14期 第2四半期連結 累計期間	第15期 第2四半期連結 累計期間	第14期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高(千円)	1,179,521	1,084,197	2,326,083
経常利益(千円)	308,891	336,928	569,990
四半期(当期)純利益(千円)	171,608	183,821	305,537
四半期包括利益又は包括利益(千円)	177,429	183,782	312,434
純資産額(千円)	7,219,137	7,300,434	7,381,794
総資産額(千円)	7,529,832	7,585,003	7,689,724
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	640.61	663.31	1,140.57
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	640.07	-	1,140.06
自己資本比率(%)	89.5	96.2	89.4
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	202,502	226,041	445,364
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	84,475	295,181	282,800
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	162,377	267,904	147,712
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	987,874	709,223	1,047,638

回次	第14期 第2四半期連結 会計期間	第15期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	289.16	289.63

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 第15期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第14期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社と子会社ゴメス・コンサルティング株式会社は、平成23年7月1日に合併いたしました。

詳細は、第4.「経理の状況」1.四半期連結財務諸表 注記事項(企業結合等関係)に記載のとおりであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書の記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の連結業績は、売上高が前年同四半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）の1,179百万円から95百万円（8.1%）の減収となる1,084百万円となりました。

セグメント別には、金融情報評価・情報提供・コンサルティングの当第2四半期連結累計期間の売上高は、928百万円と前年同四半期の969百万円から40百万円（4.2%）の減収となりました。また、営業費用は、コスト削減活動により、前年同四半期の729百万円から117百万円（16.1%）減少し612百万円となりました。その結果、金融情報評価・情報提供・コンサルティングの営業利益は、前年同四半期の238百万円から76百万円（32.2%）の増益となる315百万円となりました。

ウェブ・コンサルティングの売上高は、前年同四半期の210百万円から54百万円（25.9%）の減収となる155百万円となりました。また、営業費用は、前年同四半期の194百万円から61百万円（31.5%）減少し、133百万円となりました。その結果、ウェブ・コンサルティングの営業利益は、前年同四半期の16百万円から7百万円（46.7%）の増益となる23百万円となりました。

上記のセグメント別営業費用のほか全社共通費が53百万円かかり、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同四半期の254百万円から29百万円（11.6%）の増益となる284百万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同四半期の308百万円から28百万円（9.1%）の増益となる336百万円となりました。

特別損失を12百万円計上した結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は前年同四半期の171百万円から12百万円（7.1%）の増益となる183百万円となりました。

(2) 商品・サービス別販売実績

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成23年9月30日)		増加率 減少率 (%)
	商品・サービス別売上高	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	
金融情報評価・情報提供・コンサルティング					
コンサルティング	196,604	16.7	165,306	15.2	15.9
データ・ソリューション	635,086	53.8	618,906	57.1	2.5
メディア・ソリューション	137,465	11.7	144,125	13.3	4.8
計	969,155	82.2	928,337	85.6	4.2
ウェブ・コンサルティング	210,365	17.8	155,860	14.4	25.9
連結売上高	1,179,521	100.0	1,084,197	100.0	8.1

(注) ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティングは、当第2四半期連結会計期間より、ウェブ・コンサルティングにセグメント名を変更しております。

(金融情報評価・情報提供・コンサルティング)

・コンサルティング

モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言売上が増加したものの、セミナー・フリーマガジン関連の売上が減少し、コンサルティングの売上高は、前年同四半期の196百万円から31百万円(15.9%)の減収となる165百万円となりました。

・データ・ソリューション

ファンドデータの売上が増加したものの、日刊「株式新聞」の発行部数が減少したため購読料売上が減少いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上は、前年同四半期の635百万円から16百万円(2.5%)の減収となる618百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ウェブ広告に係わる売上が増加いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同四半期の137百万円から6百万円(4.8%)の増収となる144百万円となりました。

(ウェブ・コンサルティング)

サポート売上が堅調に推移したものの、アドバイザー売上ほかが増減し、その結果、前年同四半期の210百万円から54百万円(25.9%)の減収となる155百万円となりました。

(3) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して104百万円減少し、7,585百万円となりました。

これは主として、流動資産が前連結会計年度末と比較して1,088百万円減少し、5,826百万円となった一方、固定資産が前連結会計年度末と比較して982百万円増加し、1,756百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、長期預金に1,000百万円を預入れ、固定資産へ振替を行なったこと、配当金の支払を200百万円行なったことなどにより、現金及び預金が1,100百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の増加は、主として長期預金が増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して23百万円減少し、284百万円となりました。

負債の減少は、主としてコスト削減による営業費用の減少により、買掛金及び未払金が合計28百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に183百万円の四半期純利益が計上され、200百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が25百万円減少いたしました。

子会社ゴメス・コンサルティング株式会社との株式交換により、その他の資本剰余金が387百万円増加し、自己株式が121百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間に自己株式59百万円購入し、自己株式は前連結会計年度末と比較して62百万円減少しております。

また、株式交換により、ゴメス・コンサルティング株式会社が完全子会社とし、その後合併したため、少数株主持分が505百万円減少しゼロとなりました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して81百万円減少し、7,300百万円となりました。

#### (4) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ338百万円減少し、709百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、23百万円増加し、226百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同四半期と比べ17百万円増加し、324百万円計上されたことなどによるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期と比べ、210百万円増加し、295百万円の支出となりました。

これは、主として長期預金・定期預金への預入（純額）が、前年同四半期の50百万円から、当第2四半期連結累計期間は250百万円となったこと、無形固定資産の取得に60百万円支出したことなどによるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は前年同四半期に比べ、105百万円増加し、267百万円となりました。

これは、主として期末配当金の支払が前年同四半期の160百万円から、当第2四半期連結累計期間は200百万円となったこと、自己株式を59百万円取得したことによるものであります。

#### (5) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (6) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,052,000
計	1,052,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	279,128	279,128	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式制度は採用して おりません。
計	279,128	279,128		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		279,128	-	2,093,080	-	2,484,387

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
SBIホールディングス株式会社	東京都港区六本木1丁目6-1	132,872	47.60
モーニングスター・インク (常任代理人 大和証券キャピタル・ マーケッツ株式会社)	米国イリノイ州シカゴ市 ウェストワッカードライブ225 (常任代理人住所) (東京都千代田区丸の内1丁目9番1号)	91,728	32.86
パーシング ディヴィジョン オブ ドナルドソンラフキン アンド ジェン レット エスイーシーコーポレイ ション (常任代理人 シティバンク銀行株式 会社)	(常任代理人住所) (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	5,011	1.80
ザ バンク オブ ニューヨーク - ジャ スディックトリーティー アカウ ント (常任代理人 株式会社みずほコー ポレート銀行決済営業部)	(常任代理人住所) (東京都中央区月島4丁目16-13)	3,795	1.36
富春 勇	広島県広島市	2,460	0.88
北尾 吉孝	東京都新宿区	2,144	0.77
SBIブロードバンドファンド1号 投資事業有限責任組合無限責任組 合員SBIインベストメント株式 会社	東京都港区六本木1丁目6-1	2,015	0.72
高野 潔	埼玉県新座市	1,392	0.50
前田 陽子	埼玉県川越市	1,000	0.36
大西 健一	広島県広島市	929	0.33
計	-	243,346	87.18

(注) 当社は、自己株式を2,069株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,069		
完全議決権株式(その他)	普通株式 277,059	277,059	
発行済株式総数	279,128		
総株主の議決権		277,059	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
モーニングスター 株式会社	東京都港区六本木 一丁目6番1号	2,069		2,069	0.7
計		2,069		2,069	0.7

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,028,445	927,932
売掛金	276,281	280,808
有価証券	4,569,193	4,569,223
たな卸資産	<sup>1</sup> 2,390	<sup>1</sup> 3,696
繰延税金資産	17,629	18,684
その他	24,240	29,249
貸倒引当金	2,875	2,785
流動資産合計	6,915,305	5,826,810
固定資産		
有形固定資産	<sup>2</sup> 31,065	<sup>2</sup> 31,484
無形固定資産		
のれん	118,560	114,874
その他	230,362	242,084
無形固定資産合計	348,922	356,958
投資その他の資産		
投資有価証券	70,917	70,850
繰延税金資産	2,817	2,816
長期預金	100,000	1,100,000
その他	220,695	194,504
投資その他の資産合計	394,430	1,368,171
固定資産合計	774,418	1,756,614
繰延資産		
株式交付費	-	1,578
繰延資産合計	-	1,578
資産合計	7,689,724	7,585,003

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,530	35,257
未払金	93,654	71,585
未払法人税等	130,225	136,178
未払消費税等	15,653	17,514
役員賞与引当金	8,250	-
その他	16,173	21,564
流動負債合計	305,486	282,101
固定負債		
資産除去債務	2,442	2,467
固定負債合計	2,442	2,467
負債合計	307,929	284,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,093,080	2,093,080
資本剰余金	2,821,637	3,208,782
利益剰余金	2,083,242	2,057,783
自己株式	121,812	59,094
株主資本合計	6,876,147	7,300,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77	117
その他の包括利益累計額合計	77	117
少数株主持分	505,724	-
純資産合計	7,381,794	7,300,434
負債純資産合計	7,689,724	7,585,003

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	1,179,521	1,084,197
売上原価	592,022	545,085
売上総利益	587,498	539,111
販売費及び一般管理費	1 332,533	1 254,589
営業利益	254,965	284,522
営業外収益		
受取利息	54,300	53,575
受取配当金	21	16
その他	783	805
営業外収益合計	55,105	54,397
営業外費用		
支払利息	21	-
為替差損	35	1,370
株式交付費	-	254
持分変動によるみなし売却損	1,118	-
その他	2	366
営業外費用合計	1,178	1,991
経常利益	308,891	336,928
特別損失		
事務所移転及び閉鎖費用	-	2 1,594
持分変動によるみなし売却損	-	1,463
受託投資信託償還損失	-	3 9,066
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,000	-
特別損失合計	2,000	12,124
税金等調整前四半期純利益	306,891	324,804
法人税、住民税及び事業税	130,102	142,009
法人税等調整額	734	1,027
法人税等合計	129,367	140,982
少数株主損益調整前四半期純利益	177,523	183,821
少数株主利益	5,915	-
四半期純利益	171,608	183,821

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	177,523	183,821
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	94	39
その他の包括利益合計	94	39
四半期包括利益	177,429	183,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,513	183,782
少数株主に係る四半期包括利益	5,915	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	306,891	324,804
減価償却費	49,667	48,991
長期前払費用償却額	3,190	3,190
のれん償却額	3,685	3,685
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,328	90
役員賞与引当金の増減額(は減少)	8,250	8,250
受取利息及び受取配当金	54,321	53,591
支払利息	21	-
株式交付費	-	254
固定資産除却損	-	832
為替差損益(は益)	-	1,370
持分変動によるみなし売却損益	1,118	1,463
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,000	-
売上債権の増減額(は増加)	3,131	4,527
たな卸資産の増減額(は増加)	1,043	1,306
仕入債務の増減額(は減少)	11,657	6,272
未払金の増減額(は減少)	8,762	13,938
その他の流動資産の増減額(は増加)	1,188	5,867
その他の流動負債の増減額(は減少)	4,815	7,474
その他	212	-
小計	284,005	309,957
利息及び配当金の受取額	55,469	54,809
利息の支払額	21	-
法人税等の支払額	136,951	138,724
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,502	226,041
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	800,000	200,000
定期預金の払戻による収入	750,000	950,000
長期預金の預入による支出	-	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	1,986	7,236
無形固定資産の取得による支出	32,150	60,945
敷金及び保証金の差入による支出	-	4,208
敷金及び保証金の回収による収入	-	27,209
その他	338	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	84,475	295,181

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による支出	-	1,832
自己株式の取得による支出	-	59,094
少数株主からの払込みによる収入	1,327	1,770
配当金の支払額	160,114	200,511
少数株主への配当金の支払額	1,880	8,235
リース債務の返済による支出	1,709	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,377	267,904
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	1,370
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	44,350	338,415
現金及び現金同等物の期首残高	1,032,225	1,047,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	987,874	709,223

【連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 連結の範囲の変更 当社は平成23年7月に子会社ゴメス・コンサルティング株式会社を合併いたしました。平成23年7月1日以降当社の連結子会社は、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社及びMS Investment Servicesの2社となっております。
(2) 持分法の適用の範囲の変更 該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
1 たな卸資産の内訳 仕掛品                    392千円 貯蔵品                    1,997千円	1 たな卸資産の内訳 仕掛品                    180千円 貯蔵品                    3,516千円
2 有形固定資産の減価償却累計額 200,201千円	2 有形固定資産の減価償却累計額 205,051千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																								
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>役員報酬</td><td style="text-align: right;">19,076千円</td></tr> <tr><td>従業員給与</td><td style="text-align: right;">122,013千円</td></tr> <tr><td>荷造運賃</td><td style="text-align: right;">47,893千円</td></tr> <tr><td>支払報酬</td><td style="text-align: right;">19,404千円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td style="text-align: right;">9,047千円</td></tr> <tr><td>雑給</td><td style="text-align: right;">10,071千円</td></tr> </table>	役員報酬	19,076千円	従業員給与	122,013千円	荷造運賃	47,893千円	支払報酬	19,404千円	賃借料	9,047千円	雑給	10,071千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>役員報酬</td><td style="text-align: right;">18,511千円</td></tr> <tr><td>従業員給与</td><td style="text-align: right;">79,965千円</td></tr> <tr><td>荷造運賃</td><td style="text-align: right;">44,111千円</td></tr> <tr><td>支払報酬</td><td style="text-align: right;">10,515千円</td></tr> <tr><td>賃借料</td><td style="text-align: right;">6,579千円</td></tr> <tr><td>雑給</td><td style="text-align: right;">852千円</td></tr> </table>	役員報酬	18,511千円	従業員給与	79,965千円	荷造運賃	44,111千円	支払報酬	10,515千円	賃借料	6,579千円	雑給	852千円
役員報酬	19,076千円																								
従業員給与	122,013千円																								
荷造運賃	47,893千円																								
支払報酬	19,404千円																								
賃借料	9,047千円																								
雑給	10,071千円																								
役員報酬	18,511千円																								
従業員給与	79,965千円																								
荷造運賃	44,111千円																								
支払報酬	10,515千円																								
賃借料	6,579千円																								
雑給	852千円																								
-	<p>2 事務所移転及び閉鎖費用の内訳</p> <p>当社との合併に際して、子会社ゴメス・コンサルティング株式会社が事務所を閉鎖し、当社事務所内に移転した際の費用、および子会社モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社の移転費用であります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>固定資産除却損</td><td style="text-align: right;">832千円</td></tr> <tr><td>事務所移転諸費用</td><td style="text-align: right;">761千円</td></tr> </table>	固定資産除却損	832千円	事務所移転諸費用	761千円																				
固定資産除却損	832千円																								
事務所移転諸費用	761千円																								
-	<p>3 受託投資信託償還損失の内訳</p> <p>子会社 MS Investment Servicesが、管理運営する外国籍投信を早期償還した際に、当該外国籍投信の設立費用の未償却残高を、契約に基づき、MS Investment Servicesが負担し、生じた損失であります。</p>																								

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																						
<p>1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>現金及び預金勘定</td><td style="text-align: right;">1,918,709千円</td></tr> <tr><td>有価証券</td><td style="text-align: right;">4,569,165千円</td></tr> <tr><td>3ヶ月超の定期預金</td><td style="text-align: right;">1,000,000千円</td></tr> <tr><td>現金同等物以外の有価証券</td><td style="text-align: right;">4,500,000千円</td></tr> <tr><td>現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高</td><td style="text-align: right;">987,874千円</td></tr> </table>	現金及び預金勘定	1,918,709千円	有価証券	4,569,165千円	3ヶ月超の定期預金	1,000,000千円	現金同等物以外の有価証券	4,500,000千円	現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高	987,874千円	<p>1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>現金及び預金勘定</td><td style="text-align: right;">927,932千円</td></tr> <tr><td>有価証券</td><td style="text-align: right;">4,569,223千円</td></tr> <tr><td>預け金</td><td style="text-align: right;">12,068千円</td></tr> <tr><td>3ヶ月超の定期預金</td><td style="text-align: right;">300,000千円</td></tr> <tr><td>現金同等物以外の有価証券</td><td style="text-align: right;">4,500,000千円</td></tr> <tr><td>現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高</td><td style="text-align: right;">709,223千円</td></tr> </table>	現金及び預金勘定	927,932千円	有価証券	4,569,223千円	預け金	12,068千円	3ヶ月超の定期預金	300,000千円	現金同等物以外の有価証券	4,500,000千円	現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高	709,223千円
現金及び預金勘定	1,918,709千円																						
有価証券	4,569,165千円																						
3ヶ月超の定期預金	1,000,000千円																						
現金同等物以外の有価証券	4,500,000千円																						
現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高	987,874千円																						
現金及び預金勘定	927,932千円																						
有価証券	4,569,223千円																						
預け金	12,068千円																						
3ヶ月超の定期預金	300,000千円																						
現金同等物以外の有価証券	4,500,000千円																						
現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高	709,223千円																						

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年5月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	160,729	600	平成22年3月31日	平成22年6月4日

(2) 基準日が当連結会計年度開始の日から当第2四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	利益剰余金	200,911	750	平成23年3月31日	平成23年5月31日

(2) 基準日が当連結会計年度開始の日から当第2四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

(株主資本の金額の著しい変動)

当社は、平成23年4月22日に、子会社であるゴメス・コンサルティング株式会社(以下、ゴメス・コンサルティング)と株式交換(以下、本株式交換)を行ない、同社を完全子会社といたしました。

当社は、本株式交換が効力を生ずる時点の直前時のゴメス・コンサルティングの株主名簿に記載または記録された株主(当社を除く、以下同じ)に、所有するゴメス・コンサルティングの普通株式の株式数の合計に2.2を乗じた11,246株の当社の普通株式を割当て交付いたしました。

当社は、本株式交換により交付する11,246株のうち、3,310株については当社が保有する自己の普通株式を充当し、残り7,936株について当社の新株を発行いたしました。

その結果、その他の資本剰余金が387百万円増加し、自己株式が121百万円減少いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間に、自己株式を2,069株、59百万円取得しております。

また、剰余金の配当を200百万円、およびゴメス・コンサルティングにおいて少数株主への配当を8百万円行い、四半期純利益を183百万円計上した結果、株主資本は前連結会計年度末に比べ424百万円増加いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	金融情報評価 ・情報提供・ コンサルティング	ウェブ・コン サルティング	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	969,155	210,365	1,179,521	-	1,179,521
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	500	500	500	-
計	969,155	210,865	1,180,021	500	1,179,521
セグメント利益	238,777	16,187	254,965	-	254,965

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントのうち、ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティングは、平成23年7月1日の当社とゴメス・コンサルティング株式会社との合併を機に、より適切に事業内容を表示するために、当第2四半期連結会計期間より、ウェブ・コンサルティングにセグメント名を変更しております。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	金融情報評価・情報提供・コンサルティング	ウェブ・コンサルティング（注1）	計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	928,337	155,860	1,084,197		1,084,197
セグメント間の内部売上高又は振替高		1,228	1,228	1,228	
計	928,337	157,088	1,085,425	1,228	1,084,197
セグメント利益	315,699	23,752	339,452	54,930	284,522

注) 1. ウェブサイト評価・情報提供・コンサルティングは、当第2四半期会計期間よりウェブ・コンサルティングにセグメント名を変更しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額
報告セグメント計	339,452
セグメント間取引消去	1,228
全社費用（注）	53,702
四半期連結損益計算書の営業利益	284,522

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

記載すべき事項はありません

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)

共通支配下の取引等

1 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びに取引の目的を含む取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

ゴメス・コンサルティング株式会社(以下、ゴメス・コンサルティング)  
事業の内容: ウェブサイトサイト評価・情報提供・コンサルティング

(2) 企業結合日

平成23年7月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、ゴメス・コンサルティングは解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称

モーニングスター株式会社

(5) 取引の目的を含む取引の概要

当社は、ゴメス・コンサルティングと平成23年4月22日を効力発生日として株式交換を行い、ゴメス・コンサルティングを当社の完全子会社といたしました。これにより、ゴメス・コンサルティングの株式は、平成23年4月19日に上場廃止となっております。

当社は、「中立・客観的立場から豊富で偏りのない金融情報を提供し、投資家の皆様の資産形成に役立つこと」を目指しております。そのためには、投資家の皆様への情報伝達手段を開発・改良することが不可欠と考えております。

当社は、スマートフォンやiPadなどの最新の情報端末による金融情報提供を行い、資産運用やIRなどのセミナーにUstream、Twitter、Facebookなどの最新コミュニケーションツールを活用するなど、金融市場、インターネット環境の変化に対応し、成果をあげております。

株式交換で完全子会社としたゴメス・コンサルティングは、このような最新端末・コミュニケーションツールの技術とノウハウを有しております。ゴメス・コンサルティングの技術とノウハウを活用し、当社グループが、より情報環境の変化に対応できる体制を構築し、常に最新の情報機器、コミュニケーションツールを活用した商品・サービスを開発し、当社およびゴメス・コンサルティングの顧客に提供するためには、合併により、組織を統合する必要があると判断いたしました。

また、ゴメス・コンサルティングとの株式交換の目的の一つに、上場の廃止により株式上場の維持費用ほかのコストの削減を図ることがありますが、合併により、賃借料、監査費用そのほかの管理諸費用をさらに削減することが可能になると考えております。

なお、当社は、ゴメス・コンサルティングの発行済株式の全部を保有しており、本合併による新株式の発行および資本金の増加はありません。

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に係る会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	640円61銭	663円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	171,608	183,821
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	171,608	183,821
普通株式の期中平均株式数(株)	267,882	277,129
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	640円7銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	145	希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
(うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額)	145	
普通株式増加数(株)	-	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

2【その他】

記載すべき事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月28日

モーニングスター株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 遠藤 康彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 上田 雅也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているモーニングスター株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。